

水晶波長板

特徴

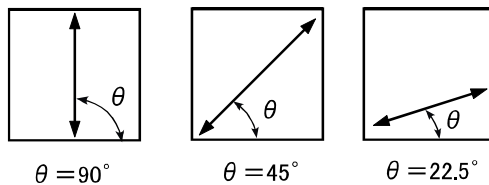
水晶の複屈折を利用して光に位相差を生じさせることによって円偏光、直線偏光させる光学素子です。

DVD等の光ピックアップ、デジタルコピー機などの読取装置、光通信などに使用されます。またプロジェクター用の水晶波長板も製作可能です。

仕様

	1/4波長板		1/2波長板	
タイプ	単板タイプ	2枚貼合わせ	単板タイプ	2枚貼合わせ
位相差	90°		180°	
位相差公差	± 3°			
設計波長	400~800nm			
ARコート特性	反射率≤0.5% (1面)			
外形、板厚	□5mm以上、別途打ち合わせによる。			
光学軸方位精度	± 1°			
透過波面収差	別途打ち合わせによる。			

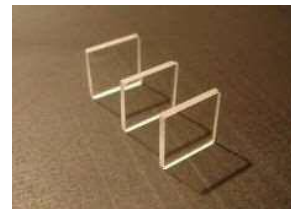
光学軸方位



$\theta = 90^\circ$

$\theta = 45^\circ$

$\theta = 22.5^\circ$



光学軸方位 θ は上記以外にもご相談に応じます。
光通信などの高精度品用として軸方位精度を±0.1°以下の基板を製作にすることも可能です。

プロジェクター用波長板

ポラライジングコンバーター(偏光変換素子)に使用される1/2波長板です。



ファインクリスタル株式会社 東京営業所
〒141-0032
東京都品川区大崎1丁目11番1号
ゲートシティ大崎ウエストタワー24F
TEL. 03-5745-2080 FAX. 03-5745-2079